

第1学年 体育科学習指導案

日 時 平成15年11月28日

場 所 体育館

学 級 1年生(男8人 女8人)

指導者 千葉 敦子

1. 単元名 マットでにんじゃにへんしん

2. 単元について

(1) 児童観

活発に体を動かす事を好み、休み時間は校庭や体育館で鬼ごっこやボール遊びをして遊んでいる児童が多い。児童によつての運動経験には開きがあり、ぶら下がる事が苦手だったり、逆さになるのをこわがったりする児童もいるが、体育の授業の中で積極的にいろんな動きに挑戦し、自分のできる事を増やして喜びを味わってきた。全員が同じ幼稚園からの入学のため、安定した気持ちで学校生活を送っているが、反面、友達関係が固定化している傾向もある。

1学期の固定施設や器具を使った運動では、忍者の修行に見立てて、ぶら下がる動き、跳ぶ動き、逆さになる動き、バランスをとる動きを中心に扱ってきた。また、友達とのかかわりをもつた運動に積極的に取り組み、楽しみながら学習を進める事ができた。本単元に関わつてアンケートをとつた所、「ころがるあそび」は、できなくても楽しいからと、好きと答えた児童が多かつたのに対して、「さかだちみたいなあそび」はあまり好きではないと答える児童が多かつた。

(2) 教材観

本単元は、基本の運動の中での「器械・器具を使つての運動遊び」である。いろいろな方向にころがったり、手で支える運動を通して自分の体をいろいろ動かし、楽しく遊ぶ中で逆さ感覚・回転感覚・腕支持感覚といった基礎感覚を養っていく。特に、本単元で養う腕支持感覚は次単元の跳び箱遊びで重要になってくる感覚である。

主として「一人遊び」の要素が大きいので、めあてを持ち、めあてに沿つて取り組んでいく学び方を身に付けていくのに適している。できる。できないがはっきりしがちな面があるが、動きを工夫したり、友達とのかかわりを持つ活動を取り入れる中で、楽しく学習に取り組む事が可能であろう。

(3) 指導観

ころがったり、手で支えたりする運動は、児童個々の運動経験の中でも開きがある分野であろう。そこで、単元全体を通して準備運動の中に体ほぐし的な運動を取り入れ、楽しくねらいに沿つた運動経験が出来るようにする。主運動では、1学期の続きを受け、忍者の修行に見立てて、意欲的に「修行」ができるようにする。また、学習カードを用い、自発的な「修行」への意欲化が継続できるようにする。

めあて 1 では、友達とかかわり合いながら、順番やきまりを守ってさまざまな運動に親しませる。その際、既習の運動を想起し、自分なりのめあてを持って活動できるようにする。めあて 2 では、設定した運動の要素からやや高度な動きに挑戦させたり、工夫した動きを考えさせたりして、運動の広まりや高まりを期待する。

単元のまとめには、学習のまとめとして自分の技を発表したり、友達の技を見たりして、成果を感じ取らせる。

3. 単元目標及び評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能
単元の目標	安全に気をつけながら、器械・器具を使った運動遊びに進んで取り組もうとする。	器械・器具を使つてのやさしい運動遊びが楽しくできる様に、工夫する。	運動遊びを楽しむなかで、逆さ感覚・回転感覚・腕支持感覚を身に付ける。
評価規準	運動の順番を守ったり、器械・器具などの使い方の決まりや運動の仕方の決まりを守ったりして、友達と仲よく意欲的に運動しようとする。	自分が出来る運動遊びを知り、自分のめあてを持っている。運動遊びが楽しく出来るように、運動の仕方を工夫している。	器械・器具を使つていろいろな回り方で回ったり、手で支える運動をすることができる。

4. 単元の指導計画

時	学習活動	評価規準		
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能
1	・出来る回り方や手で支える運動を確かめて遊ぶ。	安全に気をつけて器械・器具の準備をしたり、進んで運動遊びをしようとする。	出来る回り方や手で支える運動がわかる。	

2	いろいろな動きを楽しく行う 【めあて1】 【めあて2】 少し難しい動きに挑戦し、動きを工夫する。	横ころがり	安全に気をつけ、積極的にいろいろな運動遊びに取り組もうとする。	楽しく運動遊びを工夫している。	
3		前ころがり		前ころがる動きができる。	
4		後ろころがり		後ろころがりの仕方がわかる。	
5		壁のぼりたち		手で支える動きができる。	
6		川とび		川とびの仕方がわかる。	
7		にんじゃはつぴょうかい		出来る技を進んで発表しようとする。	いろいろな方向へころがる動きや、手で支える動きができる。

5. 本時の授業

(1) 授業の構想

- ・ 導入部分では、逆さじゃんけんやかえる跳びを取り入れ、楽しく逆さ感覚を養う。
- ・ めあて1では、どんな運動遊びをしたいか自分でめあてを持つようにして、できる運動遊びに取り組ませる。
- ・ めあて2では、上手に川とびができるためにどんな事に気をつければいいのか全体で考えさせ、場の設定を工夫しながら川とびの動きを使っての運動遊びを考えさせる。

(2) 目標

- ・ 安全に気をつけ、積極的に運動遊びに取り組もうとする。
- ・ 上手な川とびの仕方がわかる。

(3) 判断基準

評価場面	A:十分満足できる	B:おおむね満足できる	C:支援を要する児童への具体的手立て等
めあて1 いろいろな運動遊びを楽しく行う。	・安全に気をつけながら、めあてにそって意欲的に運動遊びに取り組もうとする。	・安全に気をつけながら、楽しく運動遊びに取り組もうとする。	・自分が出来る運動遊びから遊んでいくように声がけし、意欲を持たせる。安全に留意させる。

めあて2 上手な川とび のやり方につ いて考えさせ る。	・どうすれば上手に 川とびが出来るかわ かり、川とびの動き を生かした遊びを工 夫している。	・どうすれば上手 に川とびが出来る かわかる。	・教師や友達の支援を受 けながら、自分の出来る 場で川とび遊びに取り 組む。
--	--	-------------------------------	---

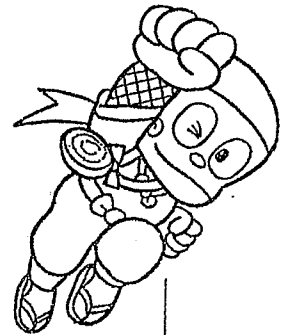
(4)展開

過 程	学習活動	教師の指導・援助(留意事項等)	教具等	評価 (評価規準・方法)
導 入 10 分	1. 器械・器具を準備する。 2. 準備体操をする。 ・鬼遊び ・逆さじゃんけん ・かえる跳び	○協力し合って安全に準備できるよう声がけをする。 ○友達とかかわり合いながら仲良く活動できるようにする。 ○逆さじゃんけんが難しい時は口で言っている事を教える。	マット 跳び箱 ロイタ 一板 コーン	
展 開 27 分	3. めあて1 いろいろな運動遊びを楽しむ。 3. めあて2 川とびの仕方を工夫しよう。 4. 整理運動	○前時の学習をふり返って、自分なりのめあてを持たせる。 ○楽しい雰囲気の中で運動遊びが出来るよう、BGM をかける。 ○上手な川とびが出来るためにどんな事に注意すればいいか考えさせる。 ○いろんな場で川とびをして、腕支持感覚を養わせる。 ○友達のよい動きを賞賛する。 ○簡単なストレッチを行う。	紙板書 テープ	【関】安全に気をつけていろいろな運動遊びに取り組めたか。 (挙手) 【思】川とびの仕方がわかったか。 (発言・行動観察)
終 末 8 分	5. 後始末 4. 振り返り 本時の学習を振り返る。	○安全に気をつけて後始末をさせる。 ○学習カードをもとに振り返りをする。 次時の予告をする。	学習 カード	

めざせ！にんたましゅぎょうカード

(なまえ)

にんじゃ)



	力をあわせてじゅんぴした	あんぜんにきをつけた	たのしくうんどうした	しゅぎょうをがんばった	おもったこと
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

- ◎ よくできた
- できた
- △ もうすこし



たいいくのアンケート

なまえ()

① だんご虫のように、まわってあそぶのはすきですか。

(はい まあまあ いいえ)

② さかだちみたいな あそびはすきですか。

(はい まあまあ いいえ)

③ うまとびはすきですか。

(はい まあまあ いいえ)

④ タイヤとびはすきですか。

(はい まあまあ いいえ)

⑤ いろいろなうごきをくふうするのはすきですか。

(はい まあまあ いいえ)